

令和元年7月2日

発言者	発言要旨
伊藤委員	建物被害支援事業費について、対象世帯数と支援物資はどうか。
防災危機管理課長	対象となる被災世帯に希望を取り、米、味噌、醤油を贈呈する。
伊藤委員	何世帯に配付するのか。
防災危機管理課長	300世帯を想定している。
伊藤委員	決算剰余金の使途に制限はないのか。
財政課長	決算剰余金については、地方財政法の規定により、2分の1を下回らない金額を財政調整基金に積み立てることになる。残り2分の1弱の金額については、次の年度の歳入として、特に使途が制限されるものではなく、県税や地方交付税と同じように、一般財源として活用することができる。
伊藤委員	住宅災害見舞金とはどのような内容か。
財政課長	公益社団法人全国公営住宅火災共済機構が運営し、公営住宅が火災や自然災害等により損害を受けた場合に支払われる共済金であり、県では、県営住宅239棟について加入している。 この度の地震で、酒田市にある鳥海団地の給水設備が破損し、その復旧に共済金をいただけるということで、歳入予算を計上したものである。
伊藤委員	共済に加入することによる県全体の掛金の年間所要額はいくらか。
財政課長	令和元年度当初予算で、239棟で532万8千円を計上している。
小野委員	住宅災害見舞金を財源とした県営住宅の修繕費の金額はいくらか。
財政課長	修繕に要する経費を200万円と見込んでいます。これに対して共済費が125万円手当てされる。
小野委員	鳥海団地で生活している方の被害の程度はどうか。
財政課長	給水設備と配電の動力盤が水に濡れて一時的に給水がストップしたそうだが、直ちに応急的な復旧が出来たので、生活への大きな支障はなかったと聞いている。今回の補正では、本格的な復旧をするための経費として200万円を計上したものの。
小野委員	この団地は、支援物資を配付する対象になるのか。
防災危機管理課長	自宅被害者のみである。団地や貸家は対象にならない。

発 言 者	発 言 要 旨
石黒委員	<p>査定中ではあると思うが、今回の補正で、被害額のどの程度がカバーできるのか。</p> <p>また、これから被害の全容が判明すれば、9月定例会での補正や知事の専決処分が行われるのか。</p>
防災くらし安心部長	<p>土木の公共施設、農林関係施設は調査中であり、今後正確なものが出てくる。現時点で分かる範囲のものについて対応した。</p>
石黒委員	<p>さらなる追加補正があるという認識でよいか。</p>
防災危機管理課長	<p>土木関係は調査費のみ補正で計上している。国の災害査定を受けて、復旧事業の所要額を計上することになる。</p>
石黒委員	<p>災害の場合は専決処分もあるだろうが、本格的な被害額が分かるのは今後ということで良いか。</p>
防災くらし安心部長	<p>被害額については、今後判明し、確定する。</p>
野川委員	<p>他県からの支援状況はどうか。</p>
防災危機管理課長	<p>熊本と大阪などから職員派遣を受け入れている。住宅調査では、宮城、福島、岩手から2名ずつ派遣を受けた。支援物資については把握していない。</p>
野川委員	<p>支援物資を米、味噌、醤油にしたのはなぜか。インスタント食品や液体ミルクなどがあるのではないか。むしろ現金の方が良いのではないか。</p>
防災危機管理課長	<p>生活必需品であることから選定した。今回の被災では、被災者は避難所ではなく、自宅にいるというのも理由である。</p> <p>また、見舞い事業で現金は渡せない。</p>
野川委員	<p>今回の地震で市町村の財政措置状況はどうなっているのか。</p>
防災くらし安心部長	<p>鶴岡市は6月28日に臨時市議会を開催し、2億4,563万円の追加補正を可決した。</p> <p>地方財政措置に対する要望もあると聞いており、詳細な財政需要を今後確認する。</p>
野川委員	<p>酒田市の動きはどうか。</p>
防災くらし安心部長	<p>現時点で動きはない。</p>
船山委員	<p>港湾災害費負担金の受入れの流れはどうか。</p>
財政課長	<p>国から公共災害復旧事業として認められた場合に国庫負担金が支出される制度であり、その前提として災害査定を受けて、査定額を決めてもらう</p>

発 言 者	発 言 要 旨
船山委員	<p>ことになる。災害査定は7～8月に行われる見込みである。</p> <p>港湾災害費負担金を計上するに至った経過はどうか。</p>
財政課長	<p>港湾に関する公共災害復旧事業については当初予算でも10,800千円を計上しているが、鼠ヶ関港の修繕に多額の費用が見込まれるため、事業費の補正が必要であると同時に、公共災害復旧事業に該当するとの見込みで、国庫負担金を計上したものである。</p>
船山委員	<p>予算計上した金額の考え方はどうか。</p>
財政課長	<p>県としての見積りで計上した。なお、国の査定を受けて、正確な金額が決定される。</p>
船山委員	<p>金額の確定は、災害査定の結果次第という理解でよいか。</p>
財政課長	<p>その通りの理解でよい。</p>
船山委員	<p>米、味噌、醤油を贈呈する事業の米は、どのようなものを送るのか。</p>
防災危機管理課長	<p>普通の白米を想定している。</p>
船山委員	<p>支援を希望する方は、米が炊ける状況なのか。</p>
防災危機管理課長	<p>被害の多くが屋根瓦なので、自宅で炊飯可能という前提である。</p>
船山委員	<p>そのような支援が適切なのか検討する必要がある。</p>